



左は協会ロゴ兼エンブレム。2016年7月に制定。協会員・加藤隆久氏の作品。「ボール・ラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表す。「ボール追って流そう爽やかな汗」を呼びかける。1973は協会創立年。

会報「STK」
協会業務部発行
原則隔月。1975年(昭和50年)創刊。98年から定期刊行。1号以降、業務部理事・近藤峰夫が制作、郵送。

斉藤・黒岩組 初V

秋季大会 男子1部

10月9日(日)が延期となった秋季大会は10月23日(日)午前9時から市民公園で開催。参加は男子1部26組、同2部28組、女子1部20組、同2部8組の計82ペア。
男子1部は斉藤智哉・黒岩竜二組(フリー)が和田裕記・田口俊一組(フリー)に7-5で競り勝って初優勝。女子1部は井戸田嘉奈子・池本麻里絵組(JUEGO)が入江愛・安藤美奈組(フリー)を6-4で下して初V。
男子2部は酒井真樹・山本政巳組(T-B)、女子2部は水谷千津留・酒井記代組(フリー)が制し、準優勝ペアとともに2部を卒業した。

女子は井戸田・池本組

【23面(続く)】
過順延のためW.O.ウォークアウトがやや目立った。男子1部は前年準Vで第1シードの水野・高木組、5度目のVを狙うヤオウジ(八木山富士組)らがWOとなったが、今回も強豪ひしめくハイレベルな激戦。
和田・田口組に辛勝
男子1部準決勝は和田・田口・大野木・佐藤・陶生病院、斉藤・黒岩組・石川・新川組(JPN)の対戦。和田組と斉藤組が勝ち上がり、頂上対決。決勝は大接戦。5-5から斉藤組が2ゲーム連取して7-5で辛勝。

男子1部初優勝の斉藤・黒岩組(前右)、準優勝の和田・田口組(前左)、第3位の石川・新川組(後右)と大野木・佐藤組(後左)



女子1部初Vの井戸田・池本組(前左)、準Vの入江・安藤組(前右)、3位の河合・寺田組(後左)と竹山・高組(後右)



- 【男子1部】
優勝=斉藤 智哉・黒岩 竜二 (フリー)
準優勝=和田 裕記・田口 俊一 (フリー)
第3位=石川 直樹・新川 翔太 (JPN)
大野木宏洋・佐藤智則 (公立陶生病院)
- 【男子2部】
優勝=酒井 真樹・山本 政巳(T-B)
準優勝=福島 浩平・加藤 勤(TBM)
第3位=磯村 信芳・田中 和彦(T-B)
中西 輝・加藤 昭生(BRIO)

- 【女子1部】
優勝=井戸田嘉奈子・池本麻里絵 (JUEGO)
準優勝=入江 愛・安藤 美奈 (フリー)
第3位=河合 利江・寺田ひとみ (丸新)
竹山 桂子・高 桃子 (BRIO)
- 【女子2部】
優勝=水谷千津留・酒井記代(フリー)
準優勝=増岡 依子・井手清子(MOMO)
第3位=稲垣 陽子・若松 和代(MATC)
加藤 千里・竹田晶子(BEARS)

3決は石川組が6-4で大野木組に競り勝って銅メダルを獲得。
入江・安藤組を下す
女子1部はV候補の土屋・沖胡組(JUEGO)がWO。激戦の中、連覇をめざしたチークミ(柴山・中野組)は3回戦で入江・安藤組に敗れた。入江組は準決勝で竹山・高組を振り切って決勝進出。JUEGOの井戸田・池本組が3回戦に辛勝。準決勝で河合・寺田組(丸新)に快勝して決勝。決勝は井戸田組が入江組を6-4で下して初優勝。
3決の河合組・竹山組は6-3で河合組が制した。

「秋季大会成績」



左は協会ロゴ兼エンブレム。2016年7月に制定。協会員・加藤隆久氏の作品。「ボール・ラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表す。「ボール追って流そう爽やかな汗」を呼びかける。1973は協会創立年。

会報「STK」 協会業務部発行。原則隔月。1975年(昭和50年)創刊。98年から定期刊行。1号以降、業務部理事・近藤峰夫が制作、郵送。

斉藤・黒岩組 初V

秋季大会 男子1部

10月9日(日)が延期となった秋季大会は10月23日(日)午前9時から市民公園で開催。参加は男子1部26組、同2部28組、女子1部20組、同2部8組の計82ペア。男子1部は斉藤智哉・黒岩竜二組(フリー)が和田裕記・田口俊一組(フリー)に7-5で競り勝って初優勝。女子1部は井戸田嘉奈子・池本麻里絵組(JUEGO)が入江愛・安藤美奈組(フリー)を6-4で下して初V。男子2部は酒井真樹・山本政巳組(T-B)、女子2部は水谷千津留・酒井記代組(フリー)が制し、準優勝ペアとともに2部を卒業した。

女子は井戸田・池本組

【23面(続く)】 過順延のためW.O.ウォーク・オシがやや目立った。男子1部は前年準Vで第1シードの水野・高木組、5度目のVを狙うヤオウジ(八木山富士組)らがWOとなったが、今回も強豪ひしめくハイレベルな激戦。和田・田口組に辛勝。男子1部準決勝は和田・田口・大野木・佐藤・陶生病院、斉藤・黒岩組・石川・新川組(JPN)の対戦。和田組と斉藤組が勝ち上がり、頂上対決。決勝は大接戦。5-5から斉藤組が2ゲーム連取して7-5で辛勝。

男子1部初優勝の斉藤・黒岩組(前右)、準優勝の和田・田口組(前左)、第3位の石川・新川組(後右)と大野木・佐藤組(後左)



女子1部初Vの井戸田・池本組(前左)、準Vの入江・安藤組(前右)、3位の河合・寺田組(後左)と竹山・高組(後右)



- 【男子1部】
 優勝=斉藤 智哉・黒岩 竜二 (フリー)
 準優勝=和田 裕記・田口 俊一 (フリー)
 第3位=石川 直樹・新川 翔太 (JPN)
 大野木宏洋・佐藤智則 (公立陶生病院)
- 【男子2部】
 優勝=酒井 真樹・山本 政巳(T-B)
 準優勝=福島 浩平・加藤 勤(TBM)
 第3位=磯村 信芳・田中 和彦(T-B)
 中西 輝・加藤 昭生(BRIO)

- 【女子1部】
 優勝=井戸田嘉奈子・池本麻里絵 (JUEGO)
 準優勝=入江 愛・安藤 美奈 (フリー)
 第3位=河合 利江・寺田ひとみ (丸新)
 竹山 桂子・高 桃子 (BRIO)
- 【女子2部】
 優勝=水谷千津留・酒井記代(フリー)
 準優勝=増岡 依子・井手清子(MOMO)
 第3位=稲垣 陽子・若松 和代(MATC)
 加藤 千里・竹田晶子(BEARS)

3決は石川組が6-4で大野木組に競り勝って銅メダルを獲得。入江・安藤組を下す。女子1部はV候補の土屋・沖胡組(JUEGO)がWO。激戦の中、連覇をめざしたチークミ(柴山・中野組)は3回戦で入江・安藤組に敗れた。入江組は準決勝で竹山・高組を振り切って決勝進出。JUEGOの井戸田・池本組が3回戦に辛勝。準決勝で河合・寺田組(丸新)に快勝して決勝。決勝は井戸田組が入江組を6-4で下して初優勝。3決の河合組・竹山組は6-3で河合組が制した。

「秋季大会成績」

少数激戦 レディースビギナー大会

田端・池田組 全勝V

第10回レディースビギナー大会は9月28日(水)市民公園Aで開催。出場4組。6ゲームセットのリーグ戦に熟戦。田端典子・池田富子組(協会)が3戦全勝で優勝。大越・神鳥組(協会)は初戦に惜敗し準V。3位までに賞状と賞品。塚本・久保組は残念、賞状を逃す。



優勝の田端(左)・池田(右)組

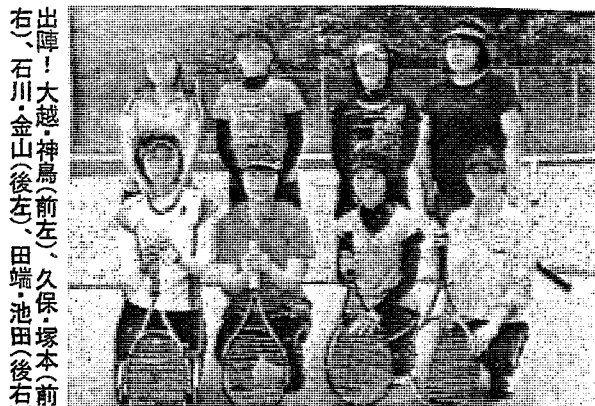
<レディースビギナー大会成績>

優勝=田端典子・池田富子組
準優勝=大越三代子・神鳥あかね組
第3位=石川千恵・金山裕美組

[リーグ戦 結果]

対戦相手 ペア	塚本 久	石 金	大・ 神	田・ 池
塚本由香利・久保明子組	●	●	●	●
石川千恵・金山裕美組	○	○	○	○
大越三代子・神鳥あかね組	○	○	○	○
田端典子・池田富子組	○	○	○	○

◆優勝の田端・池田組の話=『「100歳版」が散々な結果でしたから、優勝はうれしいです。賞品?ソックス!ありがたい』
◆無念4位の塚本・久保組の話=『全然ダメでした。「強い人は出て来ない!」って言ったのに、みんな強いじゃん!。よし、練習して来年は賞状を取りますよ』



[女子ビギナー大会 歴代Vペア]

- 第1回 07年 三浦牧子・花本葉子
- 第2回 08年 桧垣利恵子・東静香
- 第3回 09年 荒川由香里・手嶋敦子
- 第4回 10年 荒川由香里・伊東陽子
- 第5回 11年 西美子・片岡里佳
- 第6回 12年 (お流れ)
- 第7回 13年 松永亜紀・鈴木悦子
- 第8回 14年 (お流れ)
- 第9回 15年 大島幸子・町田ひさ子
- 第10回 16年 田端典子・池田富子

練習成果試す好機
「平日の練習成果発揮の場。どのペアにも優勝チャンス。田端・池田組が経験でやや優り、落ち着いたプレーで栄冠。試合に慣れ、自信をつける絶好の大会。」

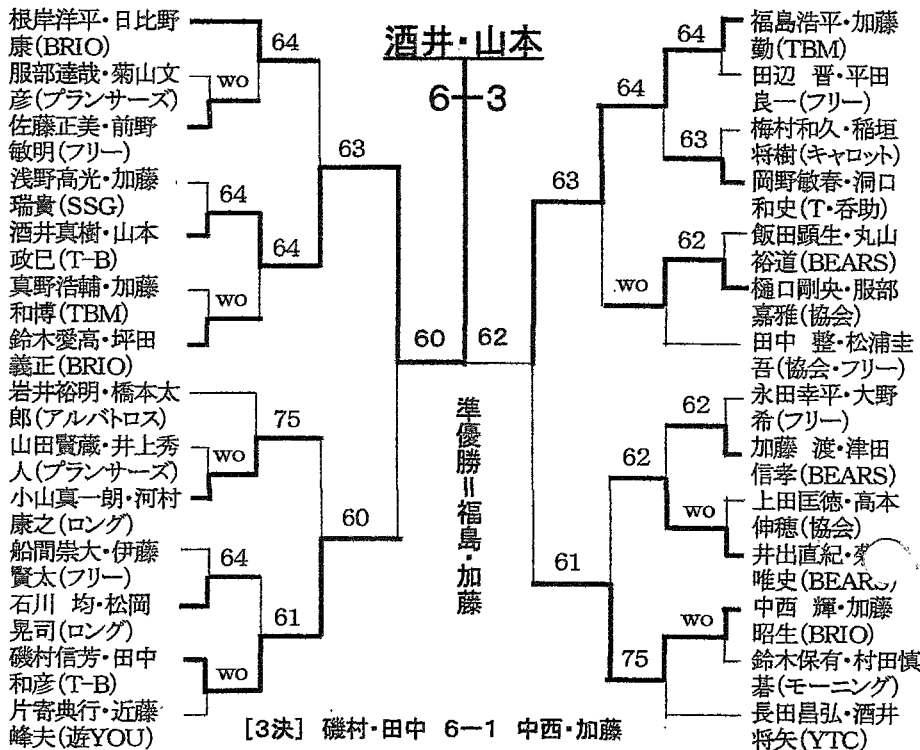
練習会終了 4月再開

行事日程

- ★第6回 高校学年別大会
10月29日(土)、11月3日(木・祝)。市民公園A・B。午前7時~午後5時。瀬戸近郊高校生。学年別男女単・複。参加費=1人800円。予備日=11月5日(土)。学校関係者に案内。
- ★壮年・レディース大会
11月27日(日)市民公園A・B。午前9時~午後5時(午前7時から使用可)。市内在・住在勤者または協会員で、(今年末現在)男子45歳以上、女子40歳以上の男女別ダブルス。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=10月15日~11月9日。予備日=12月18日(日)。10月15日付け広報掲載。
- ★協会創立記念大会&総会
12月4日(日)市民公園A&体育会館会議室。午前9時~午後5時。協会員親睦の即席ダブルス。当日会場受付。途中正午から午後1時まで総会。往復はがきで案内。必ず返信を。予備日なし。雨天でも総会は開きます。
- ★協会理事会&理事親睦大会
17年2月12日(日)午前11時~午後5時。体育館&市民公園。11時~13時=体育館会議室で理事会。のちAコート3個面で親睦大会。はがきで役員に案内。雨天の場合は理事会のみ。親睦大会の予備日なし。

<秋季大会 男子2部 戦績>

酒井・山本組と福島・加藤組は1部へ昇格



「協会」走るぞ瀬戸駅伝

12月の瀬戸近郊駅伝「STK男子」は今年も56分05秒(大脇・大石・中垣・岩崎)の協会記録更新をめざして2部へ出るぞ。走者4人を募集。1区3.4km、2区1.8km、3区4.6km、4区3.6km。昨年(大脇・梅村・大島)岩成56分46秒。今年には必ず新記録。一気に54分台を狙う。協会女子チームの初参加を望む。長距離得意のKさん、10kmまでOKのHさん、2区は10分の我慢。あと1人いませんか?「STK」を大いにPRしましょう。出場料は協会補助。以前、この駅伝のために1か月走り込んだN君は「ストロークが浮かなくなり、アウトが激減しました」と足腰鍛錬の成果を話していました。

新記録54分台へ4人募る

STK 会員募集中
瀬戸市テニス協会は会員募集中。協会主催の大会出場料が無料。年々8回の練習会に参加OK。会員登録発行。会費3000円。入会金1000円。+初年度会費3000円。年4000円。市内在住・在勤者は入会金免除。次年度から3000円のみ。銀行振り込みの新加入の方、住所・連絡先をお知らせ下さい。継続者は総会で徴収開始。

◆ゆうちょ銀行 店名=208 店番=208 普通預金口座番号=1411190 瀬戸市テニス協会
◆瀬戸信用金庫 店名=共栄支店 店番=008 普通預金口座番号=0269862 瀬戸市硬式テニス協会

「フランド」盛田氏に功労賞
盛田正明・日本テニス協会名誉会長が国際テニス殿堂の功労賞を受賞した。功労賞は国際的な貢献者に贈られ、日本人では05年受賞の故川廷栄一氏以来2人目。
盛田氏は日本協会会長を00年から11年まで務め、03年には私財を投じて「盛田フランド」を設立。錦織や西岡の米国留学を支援した。
◆全日本学生決勝(8月ニズ川)
▽男子単 小林早大(2)1望月(中大)▽男子複 逸崎・島山(慶大)210小堀・坂井(早大)▽女子単 林早大(2)10細江(早大)▽女子複 林上(早大)210米原・森崎(筑波大)

夫妻が初優勝 100歳ダブルス



第1回「100歳ダブルス」は9月17日(土)、市民公園A・Bで午前9時から開始。エントリー45組・出場42組。ブロック別1次リーグ(6ゲーム先取ノード)の後、順位別トーナメント(6ゲーム1セット)。リーグ戦2勝の14ペアによる1位グループトーナメント(GI)は久田時彦・久田裕美夫妻(計102歳・フリー)が2連覇を狙う。殷耀晨(いんようしん)・山口嘉裕組(西山)をタイプブレの末に下して初優勝。2位GIは山崎正史・柴山千沙子組、3位GIは大脇敬治・高木順組が制した。

殷・山口組 連覇逃す

<100歳複 成績>
[1位グループトーナメント]

優勝=久田時彦・久田裕美 (フリー=写真①=)

準優勝=殷 耀晨・山口嘉裕 (西山)

3決は近藤・中垣

第3位=近藤峰夫・中垣孝行 (R会だ・ロング)

杉浦敏光・加藤幸平 (みろくテニス)

[2位グループトーナメント]

優勝=山崎正史・柴山千沙子 (丸新)

準優勝=福島浩平・加藤 勤 (TBM)

第3位=木村 光・伊藤弓子 (ねこだんご)

藤田隆博・藤田由佳 (ういる)

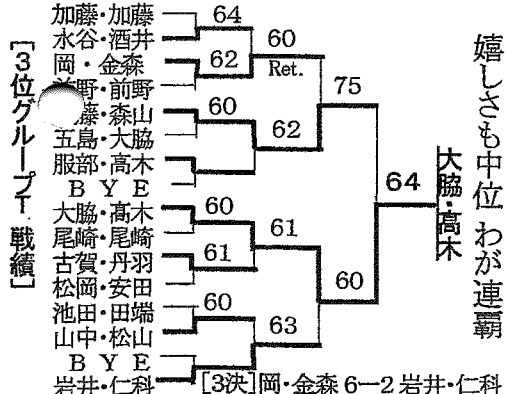
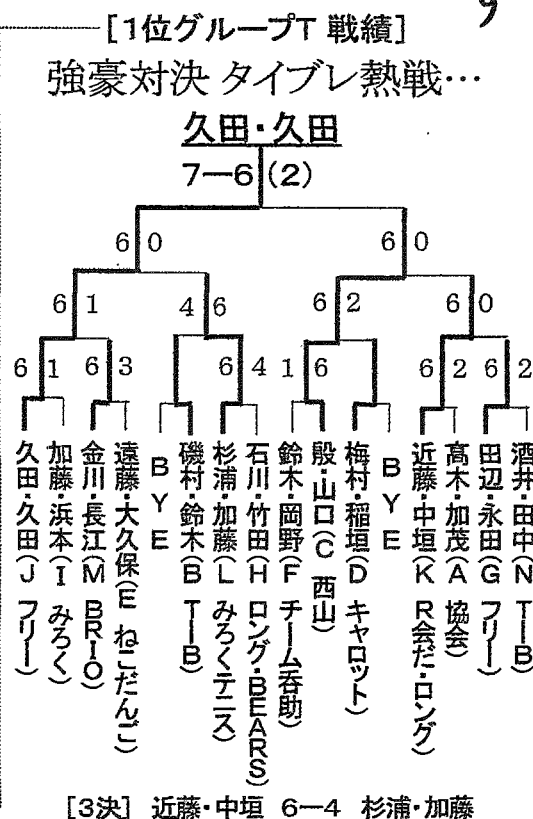
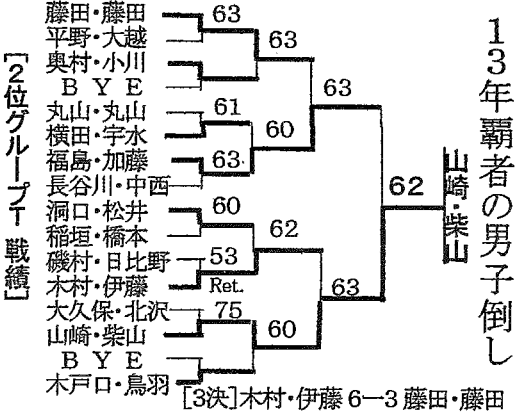
[3位グループトーナメント]

優勝=大脇敬治・高木 順(協会)

準優勝=加藤 渡・森山由香 (BEARS)

第3位=岡隆司・金森 充(ロング)

岩井裕明・仁科由紀子 (アルパトロス)



急成長の人気大会

「100歳複」は「グランドシニア大会」に代えて2006年に新設。男女統合ダブルス。年末年齢で男子ペア100歳以上、混合ペア90歳以上、女子ペア80歳以上。今回の最年長男子は73歳。先着48組募集。過去優勝ペアも再出場OKに変更。エントリー年々増え一昨年37組、昨年40組。人気の大会となった。

1次リーグのあと順位別トーナメントを行なう慣例が好評。1組3戦以上楽しめる。大会独特の「年齢勝ち」があり、勝敗が並んだ場合、得失差ではなく合計年齢の高い方(基準比)が上位。男子ペアが強い傾向だが、初代王者は高木・横山の混合ペア。今回も混合が制した。

[100歳複 歴代優勝ペア]

第1回	06年	横山真和・高木淳子
第2回	07年	高木 順・長沢裕二
第3回	08年	高木 順・水野 斉
第4回	09年	長江茂幸・安藤福泰
第5回	10年	横山真和・原田吉隆
第6回	11年	近藤峰夫・金川誠二
第7回	12年	横山高雄・富士和仁
第8回	13年	加藤 勤・福島浩平
第9回	14年	高木 順・近藤峰夫
第10回	15年	山口嘉裕・殷 耀晨
第11回	16年	久田時彦・久田裕美

初の審判講習会

体育の日・北コートで

「森林練習会」に代わる初の「審判講習会」は10月10日(祝)体育の日)午前9時から北コートで開催。講師はルール担当の小川専美理事。協会員約20人が参加。「セルフジャッジ5原則」(試合中の種々のトラブルと対処)などをルールに沿って学んだ。のち午後1時まで自由練習。

◆帽子などプレー中の落とし物

1回目はレットをコールしてプレー停止。「次からは失点」の警告。2回目から落とすことに失点。複はペア合算。16年改正で、落とす側からレットをコールすることはできない。



ルールに基づく審判法を学ぶ参加者(北コートで)



102歳久田

日本WG残留

若手で連勝 錦織組が決めた!

男子の国別対抗戦「テ杯」ワイルドグループ(WG)6強入れ替え戦の日本一ウクライナ(9月18日まで、大阪)は日本が初日2勝、2日目の複も錦織組が快勝し残留決定。最終日も連勝し5-0。初日の単、日本は錦織を温

存し若手を起用。23歳のダニエルがスミルノフ(体調不良)の代役として0-5位のスタホフスキーに7-1、7-6、6-1で先勝。20歳 西岡も全米16強・50位のマルチエニコを6-4、5-7、6-4、7-1下して2勝。早くも王手!

2日目の複で初コビの錦織・杉田組がカレチエニコ・スタホフスキー組を6-3、6-0、6-3で圧倒し、一気に

3連勝で残留を決めた。3セットに短縮した最終日もダニエルがスミルノフに3-1、6-7、6-1で勝ち、西

岡もカレチエニコに6-2、6-1で快勝。5戦全勝とした。

◆決勝はクロアチア対アルゼンチン。テ杯WG準決勝はクロア



2日目・複で3勝目。テ杯WG(16強)残留を決めた錦織(前)・杉田(奥)組

日本 来季初戦は仏

テ杯17年の組入れ替えが決まり、WG残留の日本は2月3-5日の1回戦でフランスとホーランド対戦する。仏は今季4強の強豪。単に仏は5強・3強、ダブルは全米8強・3強にイエニコの全米8強・3強に加え、錦織が若手のガスケに複も強い。仏の主力何人来るか?

テ杯入れ替え戦 ウクライナに5-0

[1次リーグ成績] ブロックごと各ペア2戦

<Aブロック>			
高木淳子・加茂冷子(女)	6-1、6-5	2勝0敗	①
水谷千津留・酒井記代(女)	1-6、5-6	0勝2敗	③
横田馨子・宇水良江(女)	5-6、6-5	1勝1敗	②
<Bブロック>			
磯村信芳・鈴木克史(男)	6-0、6-0	2勝0敗	①
稲垣陽子・橋本明子(女)	0-6、6-5	1勝1敗	②
尾崎直弘・尾崎千鶴(混)	0-6、5-6	0勝2敗	③
<Cブロック>			
服部嘉雅・高木正則(男)	4-6、0-6	0勝2敗	③
木村 光・伊藤弓子(混)	6-4、3-6	1勝1敗	②
殷 耀晨・山口嘉裕(男)	6-0、6-3	2勝0敗	①
<Dブロック>			
大脇敬治・高木 順(男)	5-6、5-6	0勝2敗	③
梅村和久・稲垣将樹(男)	6-5、6-4	2勝0敗	①
磯村和信・日比野富士子(混)	6-5、4-6	1勝1敗	②
<Eブロック>			
岡 隆司・金森 充(男)	2-6、1-6	0勝2敗	③
遠藤昌明・大久保直美(混)	6-2、6-4	2勝0敗	①
山崎正史・柴山千沙子(混)	6-1、4-6	1勝1敗	②
<Fブロック>			
鈴木さよ子・岡野敏春(混)	6-1、6-1	2勝0敗	①
丸山裕道・丸山美喜子(混)	1-6、6-2	1勝1敗	②
池田富子・田端典子(女)	1-6、2-6	0勝2敗	③
<Gブロック>			
松岡晃司・安田美奈(混)	5-6、4-6	0勝2敗	③
洞口和史・松井みどり(混)	6-5、3-6	1勝1敗	②
田辺 晋・永田幸平(男)	6-4、6-3	2勝0敗	①
<Hブロック>			
加藤千里・加藤和泉(女)	4-6、4-6	0勝2敗	③
平野欽也・大越三代子(混)	6-4、4-6	1勝1敗	②
石川 均・竹田晶子(混)	6-4、6-4	2勝0敗	①
<Iブロック>			
五島美佐子・大脇千登世(女)	5-6、0-6	0勝2敗	③
木戸口江美・鳥羽まゆみ(女)	6-5、2-6	1勝1敗	②
加藤昭生・浜本賀洋子(混)	6-0、6-2	2勝0敗	①
<Jブロック>			
岩井裕明・仁科由妃子(混)	1-6、0-6	0勝2敗	③
久田時彦・久田裕美(混)	6-0、6-0	2勝0敗	①
奥村慎二・小川由香子(混)	0-6、6-1	1勝1敗	②
<Kブロック>			
長谷川了・中西 輝(男)	4-6、6-4	1勝1敗	②
近藤峰夫・中垣孝行(男)	6-4、6-5	2勝0敗	①
加藤 渡・森山由香(混)	4-6、5-6	0勝2敗	③
<Lブロック>			
山中智子・松山正子(女)	1-6、2-6	0勝2敗	③
杉浦敏光・加藤孝平(男)	6-1、6-3	2勝0敗	①
福島浩平・加藤 勤(男)	6-2、3-6	1勝1敗	②
<Mブロック>			
古賀昭一・丹羽滋巳(男)	4-6、4-6	0勝2敗	③
金川誠二・長江茂幸(男)	6-4、6-1	2勝0敗	①
大久保洋平・北沢邦男(男)	6-4、1-6	1勝1敗	②
<Nブロック>			
酒井真樹・田中和彦(男)	6-4、6-2	2勝0敗	①
藤田隆博・藤田由佳(混)	4-6、6-3	1勝1敗	②
前野敏明・前野利香(混)	3-6、2-6	0勝2敗	③
<42組・14ブロック スコア・勝敗・順位>			

100歳4強

初優勝の久田・久田組(前右)、準優勝の殿・山口組(前左)、3位の近藤・中垣組(後左)と杉浦・加藤組(後右)



2位T・山崎組 / 3位T・大脇組制す

「1次リーグ1位通過」が頂点への条件。リーグ戦から激戦続きで番狂わせも。「年齢勝ち」はなかった。

V候補の一角、Dブロックの大脇敬治・高木順組がまさかの2連敗で3位GT落ち。ノードは怖い。Lブロック・13年覇者の福島・加藤組、Eブロック強豪の山崎・柴山組も2位GTへ回り、両者は決勝で対決。激戦Mブロック1位を狙った古賀・丹羽組は連敗。Kブロックで涙を呑んだ混復の

涙の強豪 下位Tで活躍

加藤・山崎組は3位GTで決勝進出。1位通過を逃した強豪。今だが、2位Tは山崎・柴山組、3位Tは大脇・高木組がV。辛くも面目を保った。女複、混復勢が健闘。1位1-4、2位のうち6ペア。久田夫妻(市内在住)は第1回大会の高木・横山組以来の混合V。久田夫妻は99年・第4回瀬戸ミックス大会覇者。裕美は98年・第20回全国レディス決勝大会で愛知初優勝の時の原代表3ペアの一員。

国体 少年女子は3回戦惜敗

男子2回戦で敗れる

▽少年男子1回戦 愛知 2-1 奈良 X池田6-8、○大窪9-8、○複5(棄権)1

▽同2回戦 愛知 0-2 埼玉 X池田1-8 X大窪5-8

▽少年女子1回戦 愛知 2-1 石川 ○阿部8-5、○伊藤9-7

▽同2回戦 愛知 2-1 千葉 X阿部6-8、○伊藤8-2、○複8-4

▽同3回戦 愛知 1-2 京都 X阿部5-8、○伊藤8-2、複6-8

ナイター教室終わる 33人に修了証

ナイターテニス教室は8月6、13、20、27日の土曜4回(午後6時~9時)開き、予定通り終わった。最終日はダブルスクエアも。3クラスにわかれた受講者33人が実戦のゲームで練習の成果を発揮していた。修了証を手渡して閉講。この教室を機に新加入の女性・Uさんが9月21日の練習会に初参加。その後も練習会に顔を見せ、猛練習でいっしょ。

錦織 2回戦中 棄権

突然の左臀部痛 3度目Vの夢散る

男子のジャパン・オープン(V500)10月9日まで・東京有明)は第1シード・錦織(世界5位)6歳・日清食品が左臀部痛で2回戦途中棄権。第6シード・キリオス(15位・豪)が第5シード・ゴフィン(14位・ベルギー)に競り勝って初優勝。今季、通算とも3勝目。賞金3200万円を獲得。

バブリンから欠場
前年V・世界3位のバブリンが背中痛、五輪・銀のデルボルトは体調不良で欠場。9度目出場・初の第1シードとなった錦織は2年ぶり3度

目Vの好機だったが、結果は残念。高い予約チケットに3100として治療を受けたが回復せず。プレーを続けたが、4-3とリードの第3ゲーム途中でリタイアを申し出た。途中でのリタイアを申し出た。豪の悪童が競り勝つ

共に上位を破り決勝進出のキリオスとゴフィン。「技は最高・マナ・最悪」の成長株・キリオス(21歳)が4-6、6-3、7-5で逆転初V。

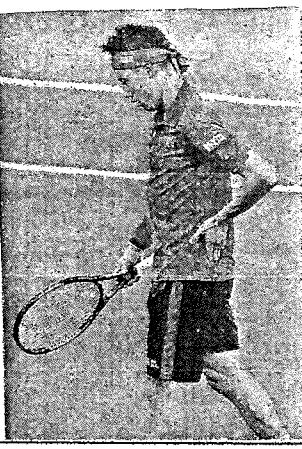
キリオス初優勝

キリオス

②モンフィス (仏)	20
⑥キリオス (豪)	64 64
⑤ゴフィン (ベルギー)	20
④チリッチ (クロアチア)	75 64

〔丸数字はシード、小数字はスコア〕

〔標準決勝から〕
2回戦、顔をしかめながらプレーする錦織。第8ゲーム途中でリタイア



◆錦織の話「第3ゲームの最後に急に痛みが来た。最悪の結果で申し訳ない」
翌6日「臀部に張り」の診断。上海大会(V1000)欠場。フロリダで治療後、イス室内(V500)で復帰をめざす。

上海マリーV
マターズと上海はリ
ンを7-6、6-1で下し今季6勝目。
キリオス豪が無気力プレーと観客の暴言で3か月の出場停止と罰金200万円。



西岡ら4人初戦負け
錦織以外の単日本4人は初戦で敗退。主催者推薦の西岡(写真)96位。21歳は第5シードのゴフィンに第1セット4-2から取り損ね5-7、2-6で屈した。添田はベルダス(スペイン・元7位)に7-6、3-6、3-1の惜敗。ダニエルはテイアサレビッチ(セルビア・元8位)に2-6、4-6で敗れ、杉田は第2シード・モンフィスに3-6、1-6で敗退した。

複はグラノリエルス組
復のダニエル・内山組は1回戦敗退。グラノリエルス(スペイン・マトコフスキ・ポーランド)組が初制覇。

【積算ポイント】
月末時点

1	ジョコビッチ	10240
2	A.マリー	8185
3	バブリン	4820
4	ラオニッチ	4420
5	錦織	4315
6	モンフィス	3355
7	テイアサレ	3205
8	ナダル	3200
9	ベルデイハ	2530
10	チリッチ	2400

8強 10、12 錦織出場確定

【錦織 今季成績】

プリズベン	8強
★全豪	優勝
★メンフィス	2回戦
★メキシコ	8強
★パルバ	準優勝
★マイアミ	準優勝
★パルセロナ	4強
★マドリッド	4強
★イタリア	4回戦
★全仏	4回戦
★グリーウェン	2回戦

【銅】報奨金200万円贈る
日本テニス協会は大会開幕に先立ち、五輪・銅の錦織に報奨金200万円を贈った。

【全英】
★全英
★全豪
★全米
★全日
★全中
★全オ
★全米
★全日
★全中
★全オ



2度目のV。賞金1960万円獲得。ラドワンスカV2ならず。全仏覇者で3位の第1シード・ムクルサ、五輪・金の33位・ブイグは8強止まり。準優勝・大坂は66位から47位にアップ。ウオズニアツキは10月・香港OPも制し今季2勝目。

◆大坂の話「経験が足りない(第1セット)相手の治療時に色々考えました。決勝に進めようと思いました」

複はミルザ組初V
複は、昨9月結成・ジャパ女子でツアー初Vの青山

大坂 準優勝

ウオズニアツキ

ウオズニアツキ	75 63
大坂	20
スピリナ	21

〔東レ・大坂の戦績〕(小数字はランク)

01回戦	34・土居美咲	64, 64
02回戦	12・チブルコバ	62, 61
0準々決勝	107・サスビッチ	63, 63
0準決勝	20・スピリナ	16, 63, 62
0決勝	28・ウオズニアツキ	57, 36

初戦、日本の1、2初対決で仲良しの土居⑥を破った大坂②。チブルコバ(14年全豪準V)にも190分のサーブと強打で圧勝。第2セット5-1からは全米の悪夢を振り払った。好調の要因は「ヤキニク、タバコカラ」。サスビッチを下し、初回の4強。スピリナをも逆転、95年Vの伊達以来の日本選手の決勝。「深く考えない。オヤシ」と気楽。元女王との決勝は第1セットを逆転で失い、右肩治療の後は精彩を欠いて敗れたが、20位内を2人倒しての準Vに表情は明るかった。

青山・二宮組が優勝

単・マクヘルV 奈良4強ならず
ジャパン女子オープン
9月18日まで・東京有明)は第1シードの青山・二宮組が優勝。賞金438万円を獲得。孤軍奮闘の奈良

◆大坂の話「経験が足りない(第1セット)相手の治療時に色々考えました。決勝に進めようと思いました」

複はミルザ組初V
複は、昨9月結成・ジャパ女子でツアー初Vの青山

は8強止まり。複は穂積・加藤組が準決勝敗退。青山・二宮組が決勝でレイ・スミナ組(英)に6-3、6-3で快勝して優勝。土居・奈良組、久見・高畑組、日比野・ロソルスカ(ポランド)組は初戦敗退。

第1シード土居初戦負け
単の日本勢は80位台の奈良と大坂が初戦突破。2回戦で大坂は第6シードの

◆中国OP、女子単の土居は2回戦でストロニコバに7-1、0-6、2-6で敗退。

◆日比野惜敗
女子のタシケントOP(10月2日まで)単で前年覇者・日比野は決勝で全米準優勝のプリズベン(スペイン)に3-1、6-2、3-6で敗れ、連覇を逃した。奈良は2回戦敗退。桑田は初戦負け。

全米 錦織バテて決勝逃す

マリ― 撃破バブリンカに敗退

四大大会最終戦・全米(9月1日まで)男子単は第3シード・バブリンカが第1シード・ジョコビッチに逆転で勝ち初優勝。第6シード・錦織は第2シード・マリ―を倒して4強入りしたが、バブリンカに逆転で敗退。女子は第2シード・ケルバーが第10シード・プリスコバを下して初V。



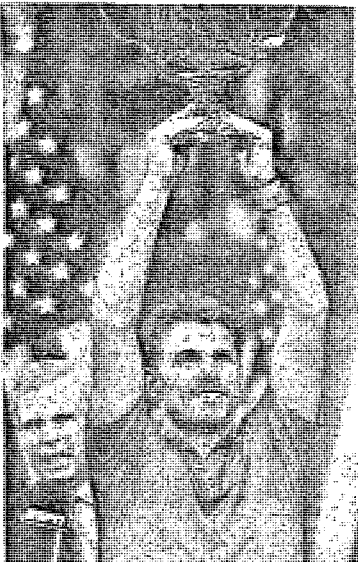
準決勝・バブリンカ戦―ポイントを取ると悔しがる錦織

<全米男子単 準々決勝以降>数字はランク

1 ジョコビッチ	2-0 (棄権)		
11 ツォンガ	3-1		
12 モンフィス	3-0		
25 アイユ	3-1	3-1	
3 バブリンカ	3-1	6-7	
142 デルポトロ	3-1	6-4	
7 錦織	3-2	7-5	
2 A・マリ―		6-3	

ジョコの連覇阻みバブリンカ初V

◆バブリンカの話―「あふれる涙をぬいながらベストのプレーをしないと勝てない相



王者・ジョコビッチに逆転勝ち―初優勝しトロフィーを掲げるバブリンカ

手に勝つて最高だ。全てを出し切った。途中、けれども来たが最後まで戦った」

◆錦織の話―「マリ―とのフルセットが響いた。疲れと暑さで思考能力が停止、動けなくなった。2セット連取していれば…。第3セットからは細かいミスが多く出てしまった。夏だけなら一番よかった。トップ選手に勝っていることを自信に、今後を戦いたい」



初優勝を決めた瞬間、派手なガッツポーズのケルバー

◆ケルバーの話―「四大大会Vと世界1の2つの夢が1年で叶うなんて。一年で叶うなんて、重圧を背負う覚悟はできて、長く1位を守りたい」

準決勝は世界3位・片手バックの名手バブリンカ。攻撃型の31歳。過去錦織2勝3敗(最近2勝1敗)。勝てば2年ぶり決勝。第1セット、先に前へ出る攻勢で6-4と先取の好スタート。第2セット3-3の第7ゲーム0-40のブレイクチャンスでミ

スで逃して流れを渡す。5-1を踏ん張れず落とす。第1[R]「相手」。「バックハンド」
 ○1 ベック 96位 独
 ○2 ハヤシ 95位 ロシア
 ○3 マエ 42位 仏
 ○4 カロビッチ 215 クロアチア
 ○5 マリ― 第25 英
 ○6 マリ― 第25 英
 ○7 マリ― 第25 英
 ○8 マリ― 第25 英
 ○9 マリ― 第25 英
 ○10 マリ― 第25 英

女子はケルバー 初優勝

スで逃して流れを渡す。5-1を踏ん張れず落とす。第1[R]「相手」。「バックハンド」
 ○1 ベック 96位 独
 ○2 ハヤシ 95位 ロシア
 ○3 マエ 42位 仏
 ○4 カロビッチ 215 クロアチア
 ○5 マリ― 第25 英
 ○6 マリ― 第25 英
 ○7 マリ― 第25 英
 ○8 マリ― 第25 英
 ○9 マリ― 第25 英
 ○10 マリ― 第25 英

男子単決勝はジョコビッチ対バブリンカ。過去ジョコビッチ19勝4敗(うち四大大会で2敗)。第1セット、タイブレークをジョコビッチが先取。競った第2、第3セットはバブリンカが連取。第4セットも打ち勝って6-3で押し切り、逆転勝ち。4大会連続で賞金約3億6千万円獲得。大舞台に強く、全英を残して四大大会全制覇に王手。

男子複は第4シードのジエニミー・マリ―(アンデイ・マリ―の兄・英・ソアレス・フラジレ組)がスペインのカレノ・フスタ・ガルシア(ベス組)に6-2、6-3で快勝して初優勝。

<全米女子単 準々決勝以降>数字はシード

① セプ	2-1		
② プレ	2-0		
③ プリス	2-0		
④ コバ	2-0	2-1	
⑤ ニスト	2-0	6-3	
⑥ セバ	2-0	4-6	
⑦ ウズ	2-0	6-4	
⑧ アニ	2-0	6-4	
⑨ ツン	2-0		
⑩ ケル	2-0		

大坂16強目前で
 大坂(大阪出身18歳81位・初出場)が全仏に続き3回戦進出。第8シード・キーズ(米)に5-7、6-4、6-7で惜敗。最終セット5-1から早く試合を終わらせたといとチーパスにな

強打のプリスコバ下す
 女子はケルバー(独)28歳が堅守で強打のプリスコバ(米)18歳を倒して初優勝。全豪に続き四大大会2勝目。セレーナに替わり世界1位に準決勝で敗れたセレーナは3年半守った1位の座を譲ったが、四大大会単白星数でフェデラーの307を抜き「309」の新記録。

西岡、強サーブに善戦及はず
 86位・西岡は初戦で第23シードの強サーブ・テンダーソン(南)に善戦したが3-6、5-7、4-6のストレート負け。

土居、バック攻めに完敗
 土居は自己最高の32位で第30シード。初戦1-02位ビント(独)にバックをしつこく攻められ、4-6、1-6の完敗。70位・日比野は初戦3-7位・ラデノビッチ(仏)に4-6、5-7、80位・奈良は100位・フーゲレ(スイ)を下したが、2回戦で92位・ニコクロアチアに3-6、3-6で敗れた。



大坂3回戦、金星を逃す

初女子地上 銅

複枝で確保



「4度目の正直」最後のメダルチャンス。単3決に快勝し日本女子に初のメダルをもたらした上地

パラ五輪・車いす

リオ・パラ五輪、車いす男子単3連覇をめざした世界7位・国枝慎吾(33歳・エルク)は8強入りしたが準々決勝で2位ジェラルド(ベルギー)に3-1、3-1の完敗。国枝に憧れる三木拓也(27歳・トヨ目)も準々決勝で1位ウデ(仏)に4-1、2-1で屈した。真田卓は3回戦で、齋田悟司(44歳・四日市出身)は2回戦で敗退した。

リオ五輪のメダリスト (一部既報)

男子単	男子複	女子単	女子複	混合複
＜金＞ A・マリ (英)	ロペス・ナダル (スペイン)	ブイグ (プエルトリコ)	ベスニナ・マカロフ (ロシア)	ソック・マテック サンズ(米)
＜銀＞ デルポトロ (アルゼンチン)	メルジュ・テカウ (ルーマニア)	ケルバー (独)	バジンスキー ヒンギス(スイス)	ラム・ビーナスW ラム(米)
＜銅＞ 錦織 圭 (日本)	ジョンソン ソック(米)	クビトバ (チェコ)	サファロバ・スト リコバ(チェコ)	ステパネク・ハラ デツカ(チェコ)

日本ペア「銅」士討ち

複は国枝・齋田組と、国枝に憧れる三木(27歳)・真田組がそろって4強入り。準決勝で国枝組は英ペアに2-1、4-1、6-5、1-7でともにストレート負け。銅をかけた3決は日本組同士。国枝組が先輩の賞禄と意地で2-1、0。メダルを掌中に。◆国枝の話「(V3を逃し)「オ」は最強だ」と言い聞かせようとしたが、相手が上だった。(右ひじ手術後)プランクが長すぎた。(後)銅残念な結果の大会で最後に少し救いになった」



国枝、複で「銅だ！」

上地3決 好対照の涙

女子単、選手団旗手の世界2位・上地(かみじ)結衣(左利き)22歳は準々決勝まで快調に勝ち進んだが、準決勝でフランスのクート(オランダ)に3-1、6-1、4、5-17で惜敗した。デフロート(7位・オランダ・19歳)との3決は、堅守と機敏な攻めで6-1、3、6-1の快勝。オランダ

シンシナティW&S

錦織「体が言うこと聞かない！」

トニックに敗れ16強
全米前哨戦のシンシナティ・ウエスタン&サン男子単で第5シード・錦織は2回戦で68位・ユージニーに快勝したが3回戦で21位・長身の強サバー・バートミック(豪)に6-7、6-17で競り負け8強入りを逃した。

菜緒を追う一宮の吉川慧

一宮の木曾川ローンテニスクラブに通う吉川慧(よしかわけい)は、



日比野野に憧れ、同じ木曾川LTCで練習している吉川慧さん

のピーク。ゲーム中、何度もラケットを杖にする姿。こんな体で言うことを聞かないのは久しぶり。ダメーじが来ている。もうちょっと元気だったら、と悔しそう。

小学3年・木曾川LTC

初めはうまく打てない。根気よく練習を続け、今はサーブもライン際にコントロールできるようになった。「練習はきついけど、前よりも上手にできるよ。うになるのが楽しい」と笑顔。

勢のメダル独占を阻み、日本女子初のメダル「銅」を獲得した。3度目出場の堂森佳南子(41歳・静岡出身)は初戦負け。複の上地・二條実穂組は準決勝3時間43分の接戦を4-1、7-5、5-17で敗れ、3決もフルセットで惜敗。上地は最後のメダルチャンスをもろにして涙々：◆上地の話「メダル機会を度逃し、昨夜は泣いてました。朝やと気持ち切り換えられた。朝の喜び、少しの方が強い。東京で(金)の策を考え始めてます」

錦織5位ノ士居30位
10月17日付け世界ランキング男子で錦織は1つ下げて5位。杉田86位、ダニエル96位。1位ジョニコビッチ、2位マリ、3位バプリンカ変わらず。ラオニッチが錦織を抜いて4位。女子は土居30位のまま。大坂は自己最高の40位。奈良79位、日比野84位。1位ケルバー、2位セレナ、3位ラドワンスカ。セレナは肩痛で上位者によるWTAファイナル欠場。

津大坂、クズネツオワ天に惜敗し4強逃す
女子の天津オープン(10月)単で、東レ準Vの大坂は1回戦で第8シードシエウエドワカザフスタンに6-4、6-2の快勝。2回戦も五輪・混複「金」のラドツカ(チエコ)を6-1、2、7-16で倒したが準々決勝でクズネツオワ(ロシア)に6-1、2、4-6、6-17で惜しい逆転負け。奈良は1回戦で第5シード・ブイグ(プエルトリコ)に敗れた。

世界で活躍するプロに
五輪1回戦で世界31位・ベグル(ルーマニア)に競り勝った日比野菜緒選手(70位前後)を見て強い選手を相手にしっかりスマッシュなどを決めていた菜緒ちゃんにかっこよかった。ますます憧れたと感激。
「いつか菜緒ちゃんみたいに世界で活躍できるプロになりたい」と今日もコートに向かった。

クイズ3Q
Q1 人気100歳ダブルス、何組出場した?
Q2 全米、錦織4勝、準決勝、誰に負けた?
Q3 日比野菜緒に憧れる、一宮のケイは誰?

シヤラポワ「15か月に軽減薬物違反で2年間資格停止のシヤラポワがスポーツ仲裁裁判所(CAS)に不服申し立てしていたが、CASは一部主張を認め、15か月に短縮の裁定。処分明けは17年4月26日。全仏出場の見込みは生まれた。

○100歳ダブルス、秋季大会を終え、4月から27回のナイター練習会も終了。協会活動終盤。あとは壮年・レディーズと総会。年間総括と次年計画の時期。課題を具体化して練習に臨みたい。

○今号、内外の大きな大会目白押しでキー・詰め紙面。おまけに秋季延期で算段狂い。題字欄、協会ランプレムを入れて一新。(近藤)

次号は12月4日総会後

あんべんこエピソード

11月8日投票

好感度低い「嫌われ者」同士の対決。クイーンかジョーカーか?

全米	準々決勝	準決勝	決勝
[○錦織]	[●マリ]	[●マリ]	[●マリ]
16, 14, 60, 72, 43, 200, 179, 142, 9, 48, 60, 142	46, 61, 55, 69, 39, 217, 192, 145, 8, 29, 46, 130	エース率、確率、平均速球、最速球、1st、2nd、3rd、4th、5th、6th、7th、8th、9th、10th	エース率、確率、平均速球、最速球、1st、2nd、3rd、4th、5th、6th、7th、8th、9th、10th